

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 013	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合 山北支店
要望問題名 次期作用ニンニク種子の保存方法について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 例年、新規で種子を購入したのと、自分たちで栽培したニンニクから種子を用意していましたが、今回自種の発芽率が悪かったのと小粒傾向であった。自種を上手く出来るようになれば種としての販売も考えられるため、種子の良い保存方法の対策の検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部、足柄地区事務所
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ニンニクの発芽率が低い要因の1つに種球の過度の乾燥が考えられます。既存の研究成果では植付け前に十分に給水させることで萌芽揃いの向上（岩瀬1990）や、植付け時の鱗片の大きさが、収穫時のニンニクに影響する（高田2014）との報告があります。これらの研究成果は足柄地区事務所より情報提供します。また、普及指導課題の中で保存方法についても対応する予定です。		
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考	・「冬春どり栽培（ニンニク）」岩瀬、1990、農業技術体系 ・「三浦半島におけるニンニクの4月どり新作型の開発」高田、2014、神奈川研報第157号		